

薬剤師の平均月収は38万1600円(厚生労働省の平成27年賃金構造基本統計調査)とされ、一般労働者全体の平均額30万4000円(博報堂生活総合研究所「生活定」調査)と比べると高めたが、毎月一定額を貯金するという男性薬剤師は44・8%で、こちらも一般男性(28・1%)に比べ約1・5倍「堅実」なようだ。

調査は5月27日から6月1日にかけて、人材派遣・紹介のアポプラスステーション(東京中央区)が、運営する「男性

男性薬剤師は「堅実派」多い 仕事と家庭の両立を目指す

アポプラスが調査

薬剤師「専門の転職サイト「オレ薬(ヤク)」において、男性薬剤師の仕事観や生活観に関してアンケートを行ったもの。有効回答者数は1000人。

毎月、決まった額の貯金を「している」人は44・8%を占め、毎月の貯金額は「3万円以上〜5万円未満」24・4%、「5万円以上〜10万円未満」20・5%、「10万円以上〜20万円未満」35・2%で、「20万円以上」も約1割(11・7%)あるなど、堅実な性格が見て取れる。

そこで、仕事観や家庭での姿はというと、「男性でも育児休暇を取るべきだと思う」と回答した人は73・6%で、一般男性が35・1%とされるのに対して約2倍となり、家庭への関与も積極的であることが分かった。これには職場に「ママ薬剤師」も多いことが考えられる。

一方、「会社の中で出世したいと思うか?」を聞いたところ、39・4%が「はい」と回答するなど、男性薬剤師は仕事と家庭の両立を目指す姿勢が同調査から示された。